

ホームページに入院待機状況を掲載しています

病院ホームページのトップページ左側に現在の“入院待機人数”と“入院までのおおよその待機期間”を載せています。

随時更新しておりますので当院利用の際の参考にいただければ幸いです。



※待機状況は日々変動しています。詳しくは緩和医療連携室へお問い合わせください。

お問い合わせ先：緩和医療連携室 酒井（看護師）・今村（医療ソーシャルワーカー）

TEL 075-492-1230（代）

E-mail kanwarenkei@yakushiyama.or.jp



職員募集！～私たちと一緒に働いてみませんか？～

やくしやまでは、ホスピススタッフを募集しています。

職種：看護師（常勤）

まずはお電話下さい。お待ちしております！！

問い合わせ： 075-492-1230（代） 担当：稲葉

編集後記

大震災に被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げますと共に一日も早い復興をお祈り申し上げます。電力不足が連日報道されていますが、皆さんの節電対策はどのようにされているのでしょうか。頑張りすぎて三日坊主より、小さなことでも継続は力なり！日々のコツコツが大切と思い、自分にできる最善を考え日々を送っています。皆さんはどうでしょうか？

薬師山病院は、今後も職員一同心のこもったホスピスケアに努めて参ります。皆様の忌憚のないご意見・ご感想をお待ちしております。

やくしやま通信

—第34号—
2011年 vol.1



YAKUSHIYAMA HOSPICE

【理念】

『やくしやま』は、患者と家族、職員とボランティアが、それぞれの生き方を尊重し充実した生活を過ごす家である。

【基本方針】

1. 『やくしやま』は、痛みなどの不快な症状の緩和に努め、患者と家族がその人らしく生きられる家である。
2. 『やくしやま』は、ケアを始めたときから、死別後まで、患者と家族へ全人的ホスピスケアを行う家である。
3. 職員とボランティアは、患者、家族と共に生き、学び、より良いケアを提供する。

〒603-8479

京都市北区大宮薬師山西町 15

TEL 075-492-1230（代）

FAX 075-495-1189

URL <http://www.yakushiyama.or.jp>

E-Mail jimu@yakushiyama.or.jp



就任のご挨拶

緩和ケア部長 黒田 英樹



はじめまして。この4月から就任しました黒田英樹と申します。平成元年に徳島大学医学部を卒業後、京大病院産婦人科で研修を受け関連病院を勤務し、京都大学にて婦人科腫瘍学の研究をしておりましたが、緩和医療に興味を持ち、平成13年より日本バプテスト病院ホスピスに5年間ホスピス医として勤務しました。

近年、癌治療における医療技術の進歩は目を見張るものがあり、その臨床応用は多くの患者様の福音となっております。しかしその技術をもってしても癌による人の死は日本における死因の第一位であることは厳然たる事実です。聖書には次のように書かれています。

「天の下では何事にも定まった時期があり、すべての営みには時がある。」

生まれるのに時があり死ぬのに時がある。」（伝道者の書3章1節）

人は生まれた瞬間から“時”という次元の中を“死”という誰も避けることのできない瞬間に向かって歩み続けています。人生は時という縦糸と喜びや悲しみといった横糸でもって織り込まれていく絵巻物のようにも思われます。しかし病になった時、とりわけ治ることが見込めない悪性疾患になった時には本人やそのご家族は最期の“時”と向き合わなければならなくなり、その中で人生の横糸すら織り込むことができない苦痛を味わうことがあります。薬師山において諸先輩の先生方やこれまで多くの患者様から学ばせていただきました貴重な経験を生かし、それらの苦痛をチームでもって一つ一つ緩和していき患者様、家族の方々と共に最後の糸までその人らしい人生絵巻を織りなしていくことができますようお手伝いさせていただきます。と思っています。



日本緩和医療学会 認定研修施設に認定されました

日本緩和医療学会 認定研修施設とは？

質の高い緩和医療を社会に普及させていくことを目的として専門医認定制度が日本緩和医療学会によって発足されました。

専門医になるには、認定研修施設での2年以上の臨床研修の経験が必要となっています。当院はこの研修施設として、認定を受けました。

認定期間は2011年4月1日～2016年3月31日の5年間でです。



泰井院長が緩和医療学会暫定指導医に認定されました

暫定指導医とは？

専門医を目指す医師を指導・育成し、その臨床研修を修了したことを証明することが主な役割となります。専門医は緩和医療分野において高度な知識や技量、経験が必要です。この専門医を育成するため暫定指導医は、医師として10年以上の臨床経験及び麻薬施用免許を有してがん患者等の緩和医療を行った臨床経験が5年以上であることその他、緩和医療に関する幅広い知識及び経験を必要とします。この経験をもとに暫定指導医は専門医を目指す医師の指導・育成を行います。

昨年までは日本全国に459名の暫定指導医がおられ、今年の4月1日に161名が新たに認定されました。

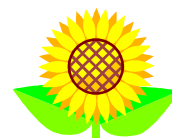
緩和医療学会専門医を目指す医師は、認定研修施設にて暫定指導医の指導のもと2年以上の臨床研修を終え、研修の修了を証明されます。その後、専門医認定試験に合格すると晴れて専門医となることができます。



日本緩和医療学会から研修施設の認定を受けて

院長 泰井 俊造（緩和医療学会暫定指導医）

このたび日本緩和医療学会より暫定指導医として認定され、その結果、薬師山病院は同学会の認定研修施設として認められました。今後薬師山病院は緩和医療の専門医を目指す医師の研修の場としても活動の場を拡げることになりますが、そのことを通じて更なる飛躍を図りたいと思っています。



第8回薬師山セミナーのご案内

当院では、ホスピスの啓蒙・啓発活動の一環として毎年「最期の生き方」と題し、薬師山セミナーを開催しております。

今年度は「経験者の語り」というテーマに基づき、滋賀県立成人病センター 緩和ケア科科長の堀泰祐先生をお迎えし、「がんを体験した医療者が思うこと」というタイトルで基調講演をして頂きます。また、第2部として「ホスピスの日々を振り返って」というテーマのもと、ご遺族とスタッフとの座談会を行う予定です。

自分の最期をどう生きるか・・・その為に今をどう生きるか、一度ゆっくり考えてみるのはいかがでしょうか。皆様のご参加をお待ちしております。

◇日時：平成23年10月29日（土） 13:00～16:00（開場 12:15）

◇会場：京都教育文化センター

京都市左京区聖護院川原町4-13 TEL(075)771-4221

◇定員：360名

◇参加費：500円

◇申込方法：①氏名・②住所・③電話番号・④年齢・⑤職業をご記入の上、

9月30日（金）までに、下記宛てに往復はがき・FAX・E-mail のいずれかでお申し込みください。（当日消印有効）

※事務管理の都合上、**お1人様につき1枚の用紙でお申し込み下さい。**

※申込数が定員を超えた場合は、抽選により決定させていただきます。

尚、当選者には10月15日（土）までに、参加証を発送させていただきます。

◇宛先：薬師山病院セミナー係（担当：稲葉）

はがき：〒603-8479 京都市北区大宮薬師山西町15

FAX：075-495-1189

E-mail：jimu@yakushiyama.or.jp

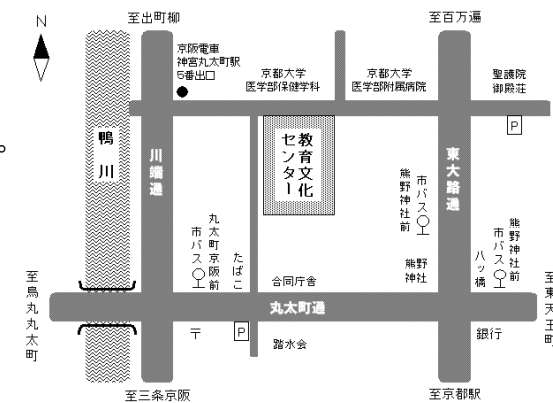
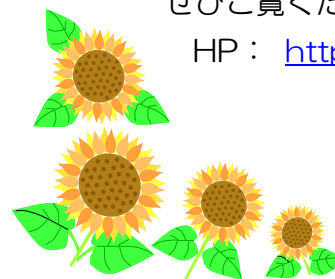
※件名は「薬師山セミナー申込み」とご記入ください

◇お問合せ：075-492-1230

担当：稲葉

詳細はホームページにも掲載しております。ぜひご覧ください。

HP：<http://www.yakushiyama.or.jp>



▲京都教育文化センター 近辺地図